

月日(校時)	単元名	教材名														
11月27日(金) 4校時	変わり方調べ	どのように変わるか調べよう														
本時のねらい 本時(3/4) ○ 伴って変わる二つの数量の関係について、表を用いてその関係をとらえ、□や○を使った式に表すことができる。																
評価規準 思・判・表 伴って変わる二つの数量の変化の特徴に着目して、表を縦や横の関係で考え、説明している。(ノート・観察)																
学習過程	学習活動(○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価														
【導入】 11:30	○前時の学習のまとめ、振り返りをペアで伝え合ひましょう。	・前時の学習の振り返りをする。														
【展開】 問題提示 11:32 見通し	1 問題を読む。 1辺が1cmの正方形を、下の図のように、1だん、2だん…と、階段の形を作ります。20だんのときの、まわりの長さを求めましょう。 ○問題を見て聞かれていることや求め方を考えましょう。 ・これまでと同じように、だんの数とまわりの長さを表に表すと良い。 ・6だんまで表に記入し、だんの数が増えるとまわりの長さも増えることをおさえる。	・20だんをかくのは大変なので図をかかずに求める方法を考えることを確認する。 ・前時を振りかえり、表を縦に見たり横に見たりして関係を考えることを促す。														
課題把握 11:37	2 課題を把握する。 20だんのまわりの長さを、どのようにして求めるとよいだろう。 シラバス:(一人学び(8分)・班学び(6分)・学び合い(10分)・まとめ(3分)・振り返り(3分)・適用問題(3分)) 言語わざ:「～と考えました。説明すると～」 キーワード: ・□が1増えると○は()増える。 ・□の()倍は○。	・ハンドサインチェックを行い、見通しが立つようにする。 ・2つの数の関係を横にみたり、縦に見たりできるよう前時の表を掲示しておく。														
自力解決	3 一人学び(ノートへ) ○表を用いてこれまでの学習をもとに考える。 考えを表に書き込んだり、言葉や式で表したりなどした後、説明もメモしておく。	・考え方が分からない児童は、友だちの考えを自由に見にいくように伝える。														
集団解決 ・班学習	4 考えたことを班で伝え合う。良いと思った考えは全部班の考えとして、マナボードにまとめましょう。 5 班の考えを発表して、全員で学び合う ○それぞれの班のまなボードを見て、同じものやちがうもので分類する。 分からないものに質問したり、付け足したりして深め合う。 ○式に表わすとどうなるかを考える。	・困っている人には教えるように声をかける。 ・グループの手引きを見ながら、話し合いをさせる。														
考察 12:01	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>□ だんの数(だん)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>○ まわりの長さ(cm)</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>20</td> <td>24</td> </tr> </table> だんの数×4=まわりの長さ	□ だんの数(だん)	1	2	3	4	5	6	○ まわりの長さ(cm)	4	8	12	16	20	24	考 伴って変わる二つの数量の変化の特徴に着目して、表を縦や横の関係で考え、説明している (観察・ノート)
□ だんの数(だん)	1	2	3	4	5	6										
○ まわりの長さ(cm)	4	8	12	16	20	24										
まとめ 12:04	6 今日の学習から考えられる大切なことをまとめる。 □×4=○ となる事から 20×4=80 答え80cm															
【終末】 振り返り 12:07	5 学習したことを振り返る。 表を使って、関係を見つけて、式に表すと、問題をかい決しやす。表をたてに見て、○が□の何倍になっているのかに注目することもある	・キーワードを使って5行以上振り返りを書くように促す。														
適用問題 12:10	6 適用問題に取り組む。(P,59 ⑤)															